



平成17年9月22日

各 位

会 社 名 株式会社ビケンテクノ
代表者名 代表取締役社長 梶山高志
(コード番号 9791 東証・大証第二部)
問合せ先 専務取締役 三木 悟
(TEL . 06 - 6380 - 2141)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月17日の決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成18年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 3 , 0 0 0	3 9 0	9 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 3 , 4 0 0	8 4 0	9 0
増 減 額 (B - A)	4 0 0	4 5 0	0
増 減 率 (%)	3 . 1	1 1 5 . 4	0 . 0
(ご参考) 前期実績(平成16年9月期)	1 2 , 9 3 3	6 7 9	3 6 4

- 2 . 平成18年3月期中間業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 1 , 7 3 0	3 3 0	5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 2 , 3 0 0	7 8 0	5 0
増 減 額 (B - A)	5 7 0	4 5 0	0
増 減 率 (%)	4 . 9	1 3 6 . 4	0 . 0
(ご参考) 前期実績(平成16年9月期)	1 1 , 7 2 9	5 9 9	3 0 9

3. 平成18年3月期連結業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	26,000	1,120	440
今回修正予想（B）	27,300	1,350	370
増減額（B - A）	1,300	230	70
増減率（％）	5.0	20.5	15.9
（ご参考） 前期実績（平成17年3月期）	24,876	1,094	562

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）53円34銭

4. 平成18年3月期通期業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	24,000	1,000	380
今回修正予想（B）	25,500	1,200	300
増減額（B - A）	1,500	200	80
増減率（％）	6.3	20.0	21.1
（ご参考） 前期実績（平成17年3月期）	22,884	951	485

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）43円25銭

5. 修正の理由

当中間期の業績につきましては、主力ビルメンテナンス事業は、プロパティマネジメント事業の強化推進とともに順調に伸展しております。また、不動産分譲事業は期初の計画を上回る伸展となっております。介護事業は、新規施設の初期投資及び入居者の確保が予定通り進まず、計画の乖離を生じております。

経常利益につきましては、上記の理由のほか、当社が匿名組合に出資しているファンドが終結することになり、2億円の受取配当金を計上する見込となりました。特別利益は、有価証券の売却を行い、4億円の売却益の計上を見込んでおります。特別損失は、減損会計による損失を229百万円計上しておりますが、加えてたな卸資産の再評価を実施いたしました。福井県あわら市において個人向けに宅地分譲を行っておりますが、地価の下落、販売状況を鑑みて今期792百万円の引当金を計上することにいたしました。

以上、諸要因を総合的に勘案し、今後の業績の進捗見込を検討した結果、上記のように業績予想を修正いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる場合があります。